

学ぶ事の大切さ



龍田和子教育委員長

年も改まり、新しい1年がスタートしました。

平成26年12月16日に委員長を拝命いたしました。 よろしくお願ひ致します。

10年にわたり教育委員として恵那市の教育にたずさわらせていただき、教育がいかに大切かを実感いたしております。

恵那市では今年4月より認定こども園が始まります。幼児から始める教育の大切さは常識的な社会の約束ごとを教えたり、体験させたりし、多くの友達と関わりあう事により、迷惑を掛けたり、掛けられたりしながら、これから先の長い人生で起こるであろういろいろな出来事に耐えうる力を養う等々が含まれているからです。

例を挙げれば、企業で管理職についている知人に尋ねたところ、新入社員に一番最初に教えなければならない事は、「挨拶」と「言葉遣い」ということでした。あの日本IBMでも以前に社長自らが会社の前に立って、出社してくる社員に「おはようございます」と声を掛けていたということです。

教育の三本柱「徳育・知育・体育」は学校、家庭、地域が力を合わせて育てていかなければなりません。それは幼児期よりスタートして辛抱強く積み重ねてゆくものだと思います。儒学者佐藤一斎の「少にして学べば、即ち壮にして為すこと有り、壮にして学べば、即ち老いて衰えず。老にしては学べば、即ち死して朽ちず。」の教えを重ね合わせても、幼児期から晩年まで学ぶべき事がたくさんあり、学ぶ事の大切さを実感しております。

地域の将来を考えられる人を育てるために



大畑雅幸教育長

現在、教育委員会において最大の課題は、急速に進む少子化への対応であり、さまざまな側面から対応をしていかなければなりません。その1つには「こども園の充実」があります。保育と幼児教育を兼ね備えたこの施策は、子育て支援の一環であると同時に、生涯学習の基礎になるものと位置付けています。昨年、各地域の説明会で頂いたご意見を精一杯尊重し「恵那市の生涯学習は幼児教育から」をキャッチフレーズに準備を進めています。2つめに「中等教育の充実」です。“自己を鍛え伸ばす”という視点で重要である3年間のこの時期、教科学習、部活動、人間関係づくり等々、仲間の中で互いに切磋琢磨し合うには、ある程度の規模の学習集団が必要です。現在、当教育委員会内に「学校再編対策室」を設置すると共に、旧恵南地区の代表者による「恵那南地区中学校あり方検討委員会」を発足し、学校統合を視野に入れた協議を行っています。昨年度来、出生数が更に激減し、少子化の大きな谷が来ており、喫緊の問題です。その背景には、地域に子を産み育てる若い世代が少ないということです。

これまで私達教職員は、学校教育を通して「人生は一度しかない。勉強も運動も精一杯頑張っ自分の可能性を追求しなさい。思いっきりかけなさい、羽ばたきなさい。」という教育観で指導をしてきました。ご家庭でも多くは同じではないでしょうか。このことは、間違いではないと思います。しかし、少し足りなかったことがあったのではないかと思います。今気が付いてみると多くの若者は進学や就職を期に都会へ羽ばたいて行ってしまいました。しかし、自分の生き方、将来を考えて見る時、家族や生まれ育った地域の将来も考えることができる人に育てたいと思います。勿論、進路選択は、個々の自由であり学校教育の中で「故郷に帰って来い」という指導をするということではなく、将来、自分の人生の中で、恵那に居ても他地区に居ても故郷恵那に熱い想いを持つ人を育てたい、中には人生の選択の岐路に立ち迷った時、恵那に戻ることを選ぶ人もあるだろう……、と思っています。保護者、地域の皆様におかれては、各学校で実施する“ふるさと学習”へのご理解とご協力をお願いします。平成27年、恵那市教育委員会は“30年先を想定し、今後10年間を組み立てる”という考えに立ち、取り組んでいきたいと考えています。ご支援をお願いします。

図書システムが新しくなりました

*** 恵那市中央図書館 ***

中央図書館(伊藤文庫)では、「いつでも どこでも 本を」を目指して、読書推進の<核>として「読書のまち」をすすめています。

旧恵那市図書館時に導入したシステムは、15年経過しており、情報量が多くなってきたため、情報化時代に対応できるよう更新しました。蔵書の検索機能がアップし、読みたい本が探しやすくなったこと、CD・DVD閲覧機器の設置で館内資料を視聴できるようになったこと、重要な郷土資料を電子化することで閲覧と保存ができるなど、利用しやすくなりました。今後も運用の面で工夫しながら、図書館が身近な施設にしていきます。

また、中央図書館とコミュニティセンター図書室、市内小中学校図書室ともつながりました。どこの地域にいても、本・絵本の出会いができるようネットワークと配送便を通じて本を手にとることができます。ぜひ、ご利用ください。中央図書館、各コミュニティセンターでお待ちしております。



気軽に運動やスポーツが楽しめる環境を

*** 文化スポーツ課 ***

～ 市スポーツ推進計画を策定中 ～

市では本年度、「市スポーツ推進計画」を策定中です。これは、市民一人一人が、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、気軽に運動やスポーツに取り組める環境を整備し、心身ともに健康で活力あるまちを目指すことを目的として定めるものです。

この計画を策定するに当たっては、現在までにスポーツ推進審議会を2回、策定委員会を4回、市内公立幼稚園及び保育園に通う4歳児を持つ保護者の皆さん、市内小学校5年生の全児童、市内中学校2年生の全生徒、18歳以上の市民2,000人の約3,300人を対象としたアンケート調査、未就学児の保護者から高齢者など約80人を対象としたワークショップを3回開催し、たくさんのご意見いただきました。

計画案では、特に多くの意見があった「健康づくり」、「青少年の健全育成」、「地域コミュニティの活性化」、「交流人口の増大」、「競技力向上」の5項目が柱となります。

中でも特に重要とされているのが、「健康づくり」です。

現在、スポーツ推進計画と同時に、「健幸のまちづくり基本計画」が検討されており、互いに連携をとりながら5本の柱ごとに行動計画を策定する準備に入っています。

市スポーツ推進計画は、「第2次市総合計画」に合わせて平成28年度から施行され、同計画の健康づくりや運動、スポーツ部門の計画として位置づけられます。

